

# 花粉症

漢方薬による眠くなあない即効性のある治療  
眠くならない 体にやさしい 即効性のある治療

漢方は長く飲んでゆっくり治す」というイメージをお持ちの方にとっては、特に「即効性」については以外に感じるかもしれません  
しかし、花粉症は漢方を適切に使うことで実に早く症状を緩和することが可能です



## 【花粉症かな？と思ったら】

医療機関で検査が出来ます。現在一般的に行われているのは血液検査です。アレルギーの強さの指標として好酸球という種類の白血球の数や比較的、IgEという免疫グロブリンの数値を測定します  
これでどの程度のアレルギーがしようじているかを大まかに把握し、その後何がアレルギーを引き起こすかを調べるためにアレルゲンの検査をします。アレルゲンは、現在、吸入性や食餌性のものなど百種類以上の検査が出来ますが4～12種類位を調べるのが一般的です  
治療方針を決定する上では大変有用な指標であるため一度は検査しておくことをお勧めします



# 漢方薬による治療

漢方薬はその人の体質【証】に応じて処方を変える必要があるため、一概にはどの漢方薬を処方するということは明記できませんが、標準的な体質の場合は記を処方します

①～④で胃腸障害がみられた時、⑤～⑥を処方します

- ① **小青竜湯（ショウセイリュウトウ）** 最も一般的な花粉症の漢方薬です  
くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみ等をはじめとしたアレルギー疾患に対しては殆どの体質の人に良く効く漢方薬です。特に冷え症がある人には良く効きます
- ② **麻黄附子細辛湯加附子（マオウブシサイシントウ）**
- ③ **桂皮湯合麻黄附子加附子（ケイヒユゴウマオウブシ）**
- ④ **越婢加朮湯（エツピカジュツトウ）**
- ⑤ **苓甘姜味辛夏仁湯（リョウカンキョウミシンゲニントウ）**
- ⑥ **人參湯加附子（シンジントウ）**

